

きになる梨情報



第74号

令和7年3月19日 県南農林事務所 経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）

- 3月19日現在、気温から予測した「幸水」の満開期は、土浦地域の定点ほ場で前年よりも1日早い見込みです。
- 今後の気温変動により開花が前進した場合は、晩霜害発生の危険性が高まります。（一般的に、午後6時に8℃、午後9時に4℃になると危険だと言われています。※品種や生育ステージ等により危険性は異なる）
- 予測最低気温（例：水戸地方气象台）とほ場の最低気温の差の観測や燃焼資材の準備等、晩霜害対策の事前準備をお願いします。
- 近年は気候が安定しにくい傾向にありますので、気象情報（注意報等も含む）の確認と生育状況の観察をこまめに行い、管理作業や薬剤散布の適期を逃さないよう、引き続き十分ご注意ください。

1 開花予測

表 土浦地域定点ほ場（土浦市下坂田）における「幸水」の開花予測

本年の満開期（予測）	前年の満開期
4月16日	4月17日

※令和7年3月19日現在のメッシュ農業気象データ（土浦市下坂田）の気温を用いた予測結果

2 「黒星病」の薬剤防除は「催芽～萌芽期」から

ナシ「黒星病」の重要防除時期は「催芽～萌芽期」から始まるため、花芽の生育ステージをしっかりと観察し、効果的な薬剤防除を実施できるよう準備します。

なお、薬剤散布とあわせて、今後の芽基部病斑の除去も徹底してください。

3 「炭疽病」の薬剤防除は5月から定期的に

炭疽病の生育適温は25℃～28℃（生育温度は10℃～35℃）で、6月～9月に曇雨天が続くと多発生します。園内の菌密度を下げるための落葉処理を行うとともに、生育期間中（5月～9月）にキャプタン剤などの炭疽病に登録のある薬剤の散布を行います。

4 晩霜害対策（多目的防災網、防霜ファン、燃焼資材等）の準備

- (1) 多目的防災網は開花前に早期展張し、人工受粉を徹底して高品質安定生産に努めましょう。なお、ほ場内の冷気が外へ流れ出るように、サイドは開けておきます。
- (2) 防霜ファンは事前に動作確認をしておきます。
- (3) 石油缶（一斗缶）の半さい缶を使用し、鉄板等をフタにして火力を調整しながら、ロックウールや剪定枝チップ等を芯にして灯油等を燃やすことで、ほ場の温度を上げることができます。